

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
呼吸器センター長 兼 呼吸器外科部長	桂 浩

－概要－

当科は、主に、肺、縦隔、胸壁などの外科疾患を担当し、日本呼吸器外科学会の認定修練施設として、泉佐野市、貝塚市、泉南市、阪南市、熊取町を中心に泉南地域の住民に対し、呼吸器外科医療を質の高いレベルで提供することに努めている。

スタッフは、年度中盤から部長1名のみの診療体制となっている。そのため、手術面では、肺癌を含む悪性腫瘍などへの主要手術に対しては、従来通りの低侵襲手術を可能な限り維持すべく、大学からの応援医師の派遣を受け、日程調整などを含めて、制限を要する状態になっている。また、診療面でも、臨時・緊急症例はもちろん、重症症例に対しても制限せざる負えない状況となっている。

このような診療体制ではあるが、外科スタッフはじめ、看護スタッフ、放射線科、臨床検査科、外来、麻酔科、中央手術部、事務などの協力体制により、ほぼ全患者にクリニカルパスを用いて、高品質で均一な医療提供ができるよう心掛けている。

なお、呼吸器センターとしては、これまで同様、肺腫瘍内科は、常勤医1名より、適時、症例検討を行い、気管支鏡検査などは協力して実施し、肺癌に対する術前治療必要例、術後補助療法必要例、再発例に対しては、加療をお願いしている。一般呼吸器内科は、近畿大学、大阪大学の寄付講座より派遣された非常勤医での外来診療のみで、依然、入院対応はできない状況である。当科としては、肺癌二次検診例の対応に加えて、術前のCOPD、間質性肺炎などを有する一般呼吸器合併症例などに対しては、外来診療をお願いしている。

－実績－

2014年4月1日～2015年3月31日

疾 患	症例数
肺癌	27
転移性肺腫瘍	11
縦隔腫瘍	4
炎症性肺疾患	3
膿胸	5
嚢胞性肺疾患（含 気胸）	28
胸部外傷	1
その他の呼吸器手術	7
全手術総数	87
胸腔鏡下、または併用手術	79
手術死亡	0

参考)手術死亡(術後30日以内死亡):0.4%

(2009年全国調査、肺癌例)